

### 3 具体的な進め方

#### (1) 協働の手法

##### ①「地域の意見を聞く場」の開催

地域住民のニーズを的確に把握するため、県民局で開催される既存の会議や集会を活用し、多様な主体等の意見を聞く場を設け、地域における課題、意見、提言に基づく協働事業創出の契機の間とします。

##### ②「協働ミーティング」の実施

協働事業の立ち上げの中心となる実務協議の間として、すべての協働の「種」について、各部所で協働事業ごとに随時、関係する多様な主体とワーキンググループを設置し、具体的協働事業化に向けて検討する間とします。

##### ③「備中流提案型公募事業」の導入

備中県民局の協働事業をより一層、活性化させるために各部所が抱える個別の課題や、今後、取り組むべき事項として、次の7つのテーマを設定し、公募します。

併せて、テーマを定めない提案公募も実施することにより、NPO等からの自由な発想やエネルギー、意見等を広く反映させます。

<テーマ>

#### ①男女共同参画社会づくりの推進

備中県民局管内各地域の現状と課題を踏まえた男女共同参画を推進するための効果的な事業の企画・運営

#### ②備中地域の地域・传统文化の発信

平成22年秋に岡山県で開催される第25回国民文化祭の機会を捉え、備中地域の個性ある文化等をクローズアップし、広く情報発信を行うことにより地域の文化振興を図る事業の企画・運営

#### ③地域防災活動の推進

備中県民局管内各地域において地域防災活動の中心となる自主防災組織の立ち上げ及び活性化を図り、地域全体の自主防災力の強化と底上げを進める事業の支援に係る企画・運営

#### ④地球温暖化防止対策の推進

県民が地球温暖化問題について意識改革を図ることができ、身近なところから地域を巻き込んで取り組むことのできるアイデアに富んだ事業の企画・運営

### ⑤高梁川を守り育てる環境保全活動

高梁川の豊かな自然、良好な環境を次世代に引き継ぐため、上・中・下流の県民、事業者等が一体となり、高梁川の未来を考え、行動する取組や気運の醸成を図る取組の企画・運営

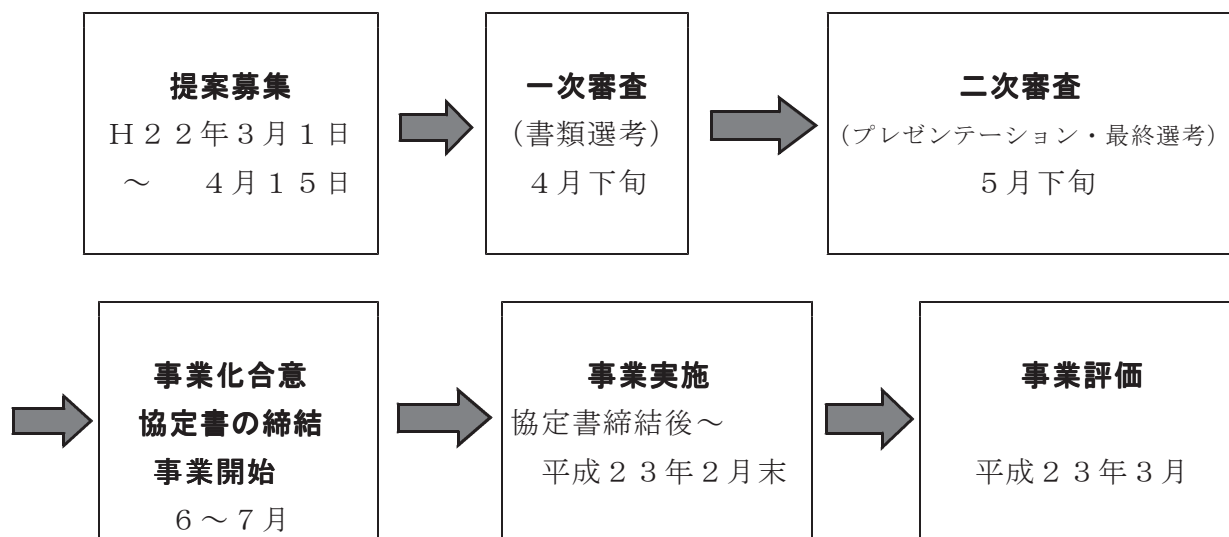
### ⑥耕作放棄地の解消

地域の農業者、都市住民や企業、NPO、教育機関等、地域内外の人々の支援等を活用した耕作放棄地の解消・地域活性化モデルの立案及び実証

### ⑦ひきこもり対策の推進

思春期、青年期のひきこもりの方を対象に農作業や事業所での作業体験を通して社会参加のきっかけづくりを目指す職場体験事業の企画・運営

< 提案募集事業の流れ >



## (2) 協働推進体制

### ① 県民局推進体制

#### ア) 岡山県備中県民局協働事業審査委員会の設置

学識経験者、NPO支援関係者等から構成する「岡山県備中県民局協働事業審査委員会」を設置し、提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言、評価を求めます。

<岡山県備中県民局協働事業審査委員会委員>

委員名	所属・職名等
岡崎 順子	岡山県立大学保健福祉学部 教授
小川 孝雄	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 所長
古賀 桃子	ふくおかNPOセンター 理事長
靄 理恵子	吉備国際大学社会学部 准教授
松井 哲也	倉敷市市民活動推進課 課長
松畑 熙一	中国学園大学・中国短期大学 学長

(敬称略・50音順)

イ) 庁内協働推進連絡会議の開催

県民局内の各部所の課室長等で組織する「備中県民局協働推進連絡会議」を設置し、情報の共有、連絡調整を図りながら、県民局の重点テーマ、重点事業、提案公募テーマ等に関する局内議論を充実させる場として活用し、総合的かつ効果的な施策の推進に努めます。

ウ) 行政職員・NPO等への協働研修の実施

地域での協働の担い手となる県民、ボランティア・NPO、各種団体等の多様な主体や行政職員（県職員・市町職員）に対して、協働についての普及啓発を行う協働研修会を実施し、人材の育成、資質の向上等を図ります。

② 管内市町との協働推進体制

協働の取組の成果を管内各地域に広げていくためには、住民に最も身近な基礎自治体である市町との連携が不可欠です。このため、県民局と管内市町の協働推進担当課で構成する「管内市町協働連絡会議」を開催し、意見交換、情報交換等を行い、連携強化と情報の共有を図ります。